

## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月23日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス  
 コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

上場取引所 東名

(氏名) 牧 寛之  
 (氏名) 松尾 民男  
 配当支払開始予定日

TEL 052-251-6891  
 平成27年11月26日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	38,931	1.1	1,849	39.2	2,293	29.3	1,567	25.1
27年3月期第2四半期	38,492	△18.5	1,328	216.4	1,774	104.9	1,253	124.5

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 1,481百万円 (△2.4%) 27年3月期第2四半期 1,516百万円 (162.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	70.56	—
27年3月期第2四半期	56.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	66,898	45,956	68.7	2,068.91
27年3月期	69,015	45,364	65.7	2,042.24

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 45,956百万円 27年3月期 45,364百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	5.4	4,800	36.7	5,600	25.2	3,600	13.7	162.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	22,237,873 株	27年3月期	22,237,873 株
28年3月期2Q	24,817 株	27年3月期	24,627 株
28年3月期2Q	22,213,123 株	27年3月期2Q	22,213,469 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1-1. 当第2四半期連結累計期間の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする海外経済の減速で輸出が鈍り、個人消費にも陰りが見られ、外国為替市場では夏場以降これまでの円安基調がいったん修正される局面に入りました。

米国経済では、労働市場の改善による緩やかな賃金上昇を背景に、個人消費・住宅投資が増加基調を維持し、欧州経済においても、ギリシャ問題の影響を除き緩やかな景気回復が継続しました。

当社グループに関係するデジタル家電業界では、パソコン市場の低迷、スマートフォン・タブレット市場の減速が続いていますが、薄型テレビ市場に限っては4Kの普及に弾みがつき回復基調を継続しています。

こうした状況下で当社グループは、個人向け市場における市場シェアの拡大・堅持、高付加価値製品によるブランド価値向上に努め、法人向け市場においては産業機器向けのカスタム製品や特殊な環境での利用を想定した新規製品投入による市場の深耕に注力しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、周辺機器事業が堅調に推移し金融事業が伸びた結果、売上高は389億31百万円(前年同期比1.1%増)の4期ぶりの増収となりました。営業利益は、周辺機器事業の利益率改善や販売管理費の削減が奏効し18億49百万円(同39.2%増)、経常利益は22億93百万円(同29.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億67百万円(同25.1%増)となりました。

1-2. 事業別売上高・営業利益の概況

■ 四半期事業別連結売上高

	平成27年3月期 (第2四半期連結累計期間)		平成28年3月期 (第2四半期連結累計期間)		前年同期比
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減率(%)
メモリ	2,384	6.2	2,223	5.7	△6.8
フラッシュメモリ	2,700	7.0	2,845	7.3	5.4
ストレージ	11,467	29.8	11,834	30.4	3.2
NAS	6,234	16.2	5,874	15.1	△5.8
ネットワーク	8,157	21.2	9,248	23.8	13.4
サプライ・アクセサリ	3,560	9.2	3,113	8.0	△12.6
その他	2,271	5.9	2,037	5.2	△10.3
周辺機器	36,775	95.5	37,179	95.5	1.1
サービス	1,217	3.2	1,139	2.9	△6.4
金融	499	1.3	613	1.6	22.8
合計	38,492	100.0	38,931	100.0	1.1

■四半期事業別連結営業損益

	平成27年3月期 (第2四半期連結累計期間)	平成28年3月期 (第2四半期連結累計期間)	前年同期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減率(%)
周辺機器	815	1,528	87.4
サービス	161	177	9.8
金融	235	312	32.5
計	1,213	2,018	66.4
消去	115	△168	—
合計	1,328	1,849	39.2

各事業の概況は、以下の通りです。

[周辺機器]

周辺機器事業の売上高は、個人向け市場においては市場シェアの拡大・堅持、法人向け市場においては産業機器向けカスタム製品等の高付加価値製品で市場の深耕に努めた結果、371億79百万円(前年同期比1.1%増)の4期ぶりの増収となりました。営業利益は、利益率改善や営業努力等が奏効し15億28百万円(同87.4%増)となりました。

主な製品別の状況は、以下のとおりです。

メモリ製品では、Intel<sup>®</sup>1の新CPU「SkyLake<sup>®</sup>1」のリリースにより7-9月期のパソコン用増設メモリ市場は僅かに伸長しましたが、競争激化により市場シェアは減少しました。その結果、販売台数は前年同期比で11.1%減少し、売上高は22億23百万円(同6.8%減)となりました。

フラッシュメモリ製品では、SDカード、SSD製品の販売強化により市場シェアは微増となりました。法人向け市場では、産業機器向けカスタム製品ビジネスが収穫期を迎え、納入実績が増加しました。その結果、販売台数は前年同期比で8.8%増加し、売上高は28億45百万円(同5.4%増)となりました。

ストレージ製品では、国内個人向け市場がゆるやかに縮小する中、低粗利製品の販売を抑制しつつ、トップシェアの堅持と収益の最大化に努めましたが市場シェアは微減となりました。その結果、販売台数は前年同期比で6.4%減少しましたが、高付加価値製品比率の向上により販売単価が上昇し、売上高は118億34百万円(同3.2%増)となりました。

NAS製品では、国内個人向け市場が縮小する中、宅外からTV録画番組が視聴できるモデル「LinkStation MyBox」等の高付加価値製品の拡販に注力しました。法人向け市場では、UPS(無停電電源装置)に対応したファームウェアをリリースする等、当社製品のさらなる法人市場浸透に注力しました。その結果、国内市場においてはシェア及び売上が拡大しましたが、海外向けの販売が大幅に計画未達となり、販売台数は前年同期比で13.5%減少し、売上高は58億74百万円(同5.8%減)となりました。

ネットワーク製品では、4本の大型稼働式アンテナを備え、家の隅々まで高速で安定した電波を供給するフラッグシップモデルを上市する等、引き続き高付加価値製品の拡販に注力しました。競争激化により期中に市場シェアが若干下がったものの、迅速に対策を打ち市場内におけるポジションを堅持しました。法人向け市場では、高い防塵・防水性能で厳しい環境でも利用可能な無線アクセスポイントを上市し、法人市場の深耕に努めました。その結果、販売台数は前年同期比で0.3%の微減となりましたが、高付加価値製品比率の向上により売上高は92億48百万円(同13.4%増)となりました。

サプライ・アクセサリ製品では、iPhone 6s※2、iPhone 6s Plus※2向けアクセサリを上市し、引き続き収益改善に努めました。その結果、販売台数は前年同期比で1.9%減少し、売上高は31億13百万円(同12.6%減)となりました。

その他製品では、ハイエンドオーディオNAS「DELA」及びデジタルフォト・アルバム「おもいでばこ」が順調に推移しましたが、同カテゴリに含まれる他の販売終了製品の影響により売上高は20億37百万円(同10.3%減)となりました。

[サービス]

サービス事業では、光回線の普及率が約70%に達し代行設定サポート事業の受託件数が減少する中、アパートオーナー向けの無線LANレンタルサービス「アパートWi-Fi※3」、建設現場など短期利用向けのNAS・監視カメラのレンタルサービス「BITSレンタル」等の新規サービスの拡大に注力しました。その結果、新規サービスは好調に推移したものの代行設定サポート事業の減少分を補えず、売上高は11億39百万円(同6.4%減)となりました。一方、営業利益は新規ビジネス拡大により高利益率の自社サービス割合が上昇した結果、1億77百万円(同9.8%増)となりました。

[金融]

金融事業では、中国市場を発端とした厳しい市況が続く中を堅調に推移し、売上高は6億13百万円(同22.8%増)、営業利益は3億12百万円(同32.5%増)となりました。

1-3. 周辺機器事業の海外売上高の概況

■ 四半期海外売上高

	平成27年3月期 (第2四半期連結累計期間)		平成28年3月期 (第2四半期連結累計期間)		前年同期比
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減率(%)
北米・中南米	2,104	43.5	1,653	45.1	△21.4
欧州	1,654	34.2	1,142	31.1	△31.0
アジア・オセアニア	1,080	22.3	873	23.8	△19.2
合計	4,839	100.0	3,668	100.0	△24.2
※()は海外売上高比率		(12.6)		(9.4)	

海外事業では、NAS製品を中心に展開を試みたものの、競争激化による大幅な戦線縮小を余儀なくされ、売上高は36億68百万円(前年同期比24.2%減)となりました。

※1: Intel及びSkylakeは、アメリカ合衆国及びその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

※2: iPhone、iPhone 6s及びiPhone 6s Plusは、Apple Inc.の商標です。

※3: Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は668億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億16百万円減少しました。流動資産は629億80百万円となり25億98百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少30億6百万円、受取手形及び売掛金の減少23億88百万円、商品及び製品の減少10億76百万円、有価証券の増加30億79百万円によるものです。固定資産は39億17百万円となり4億81百万円増加しました。

負債合計は209億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億8百万円減少しました。流動負債は183億42百万円となり、29億34百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少23億45百万円、未払金の減少1億41百万円によるものです。固定負債は25億99百万円となり、2億25百万円増加しました。

純資産合計は459億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億92百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益15億67百万円の獲得と、配当金の支払8億88百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は53億98百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は15億17百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益22億93百万円、売上債権の減少による資金増加23億65百万円、仕入債務の減少による資金減少25億円19百万円、法人税等の支払い8億42百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は36億27百万円となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の取得による支出365億25百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入330億円、有形・無形固定資産の取得による支出1億10百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は8億88百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月20日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。



3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,404	5,398
受取手形及び売掛金	13,844	11,456
有価証券	33,000	36,079
商品及び製品	7,076	5,999
原材料及び貯蔵品	1,411	2,339
繰延税金資産	817	943
その他	1,031	771
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	65,579	62,980
固定資産		
有形固定資産	587	583
無形固定資産	1,323	1,149
投資その他の資産		
投資有価証券	1,116	1,779
その他	422	420
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	1,524	2,185
固定資産合計	3,436	3,917
資産合計	69,015	66,898
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,197	11,851
電子記録債務	565	365
未払法人税等	372	555
未払金	2,183	2,042
役員賞与引当金	30	6
製品保証引当金	121	110
その他	3,806	3,410
流動負債合計	21,276	18,342
固定負債		
繰延税金負債	996	1,207
退職給付に係る負債	644	598
役員退職慰労引当金	519	532
リサイクル費用引当金	151	151
その他	61	109
固定負債合計	2,373	2,599
負債合計	23,650	20,941

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	43,590	44,269
自己株式	△61	△62
株主資本合計	45,303	45,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211	227
繰延ヘッジ損益	32	△49
為替換算調整勘定	△184	△194
退職給付に係る調整累計額	2	△7
その他の包括利益累計額合計	61	△24
純資産合計	45,364	45,956
負債純資産合計	69,015	66,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	38,492	38,931
売上原価	30,042	30,447
売上総利益	8,449	8,484
販売費及び一般管理費	7,120	6,634
営業利益	1,328	1,849
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	408	450
有価証券売却益	0	—
為替差益	29	—
投資事業組合運用益	11	—
持分法による投資利益	3	3
その他	17	18
営業外収益合計	471	474
営業外費用		
支払利息	0	—
減価償却費	6	3
投資事業組合運用損	—	1
為替差損	—	18
その他	19	6
営業外費用合計	25	30
経常利益	1,774	2,293
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	14	0
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	17	0
税金等調整前四半期純利益	1,757	2,293
法人税、住民税及び事業税	476	591
法人税等調整額	27	135
法人税等合計	503	726
四半期純利益	1,253	1,567
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,253	1,567

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,253	1,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	16
繰延ヘッジ損益	240	△82
為替換算調整勘定	△11	△9
退職給付に係る調整額	△18	△10
その他の包括利益合計	263	△86
四半期包括利益	1,516	1,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,516	1,481

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,757	2,293
減価償却費	334	321
受取利息及び受取配当金	△409	△451
支払利息	0	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,767	2,365
たな卸資産の増減額(△は増加)	987	139
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,162	△2,519
未払金の増減額(△は減少)	△241	△367
その他	103	△8
小計	137	1,773
利息及び配当金の受取額	481	454
利息の支払額	△0	-
法人税等の支払額	△1,612	△842
法人税等の還付額	108	131
営業活動によるキャッシュ・フロー	△885	1,517
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△171	△81
有形固定資産の売却による収入	-	1
無形固定資産の取得による支出	△72	△28
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△156	-
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△35,000	△36,525
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	32,016	33,000
その他	75	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,308	△3,627
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△444	△888
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444	△888
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,645	△3,006
現金及び現金同等物の期首残高	9,561	8,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,916	5,398

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							合計
	周辺機器					サービス	金融	
	日本	北米・ 中南米	欧州	アジア	計			
売上高								
外部顧客への売上高	32,621	2,104	1,654	394	36,775	1,217	499	38,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,472	228	6	15,401	18,108	21	—	18,130
計	35,093	2,333	1,661	15,796	54,884	1,238	499	56,622
セグメント損益	1,168	△41	△199	△111	815	161	235	1,213

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,213
セグメント間取引消去	115
四半期連結損益計算書の営業利益	1,328

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							合計
	周辺機器					サービス	金融	
	日本	北米・ 中南米	欧州	アジア	計			
売上高								
外部顧客への売上高	34,002	1,653	1,142	381	37,179	1,139	613	38,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,098	54	0	14,254	16,407	41	—	16,448
計	36,100	1,707	1,142	14,635	53,586	1,180	613	55,380
セグメント損益	1,776	△82	△112	△51	1,528	177	312	2,018

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,018
セグメント間取引消去	△168
四半期連結損益計算書の営業利益	1,849